

【庄原地域 庄原地区】

自治振興区へ様々な補助がなされている。この中で、制度を活用できる地域と人材不足等のため出来ない地域が顕著となっており、出来ないところもしっかり注視してほしい。同時に、行政と自治振興区の役割が不明瞭となり、地域間格差が発生してきており改善が必要である。

(回答) 自治定住課

人材不足等のため補助制度等が活用できない自治振興区については、自治定住課と自治振興区連合協議会が連携し支援していきたい。

行政と自治振興区の役割については明確にする必要があるが、自治振興区には、それぞれの地域課題があり、その解決を図るため、主体的に取り組まれる振興区もあることから、行政の役割でもあり、地域の課題でもある場合が多々ある。

このため、情報共有を図り地域特性を考慮しながら地域間格差が是正できるよう努めていきたい。

定数に関しては、議員定数の削減よりも、農業委員会の委員数がこれほど必要とは思えず、不要な委員数は削減するよう議論をして欲しい。

(回答) 農業委員会

農業委員会委員の仕事は、委員会総会での議決等(法令業務)のほか、地域の農業振興や農業者の意見の反映のための活動を行っている。

農地を守り活かすための取り組み、農業経営者支援の取り組み、農政への提言、食と農の理解の取り組み、地産地消への取り組み、情報提供などを行っている。

委員の定数については、役員会等で議論を進めているが、合併後の庄原市が広大な農地面積と地域となったことから、委員一人当たりが担当する地域が大きくなっていると認識している。引き続き委員定数のほか、女性委員を増やす取り組みについても検討していく。

美湯ハイツの課題を具体的に提言する。600戸余りの世帯が自治会を構成し生活しているが、市営住宅の30棟については、自治会入りもされないし、独自に自治組織も整備されておらず、地域の空白地になっている。災害・福祉等安心な生活を考えると不安であり、早急に対応してもらいたい。

(回答) 自治定住課

以前から自治会加入については、啓発に努めてきた。引き続き自治振興区等と連携し加入促進に努めていきたい。

## 【庄原地域 高地区】

市議会議員選挙において、Iターン・Uターンの者にとっては、候補者の意見・経歴が分からないため、選挙公報を出すことを次の選挙に向けて制度化して欲しい。

### (回答) 選挙管理委員会

市長・市議会議員選挙における選挙公報の発行については、委員会としてもその必要性を認識している。

次回選挙からの発行に向け、関係例規の整備を行なうとともに、印刷・配布方法、実務的な課題の検討等を行ないながら準備を進めていきたいと考えている。

農林振興公社が刈り取り作業のみ行い、売り先まで責任を持たず、農業者のほうで販売せよでは、公社存続の意味がない。現在の公社は機能しておらず、解散せず存続させるなら販売まで行うよう検討すべき。議会が動かないと公社は改善されない。

### (回答) 農業振興課

公社の農作業受託は、耕作が困難な農家を支援し、農地保全を図ることを目的としている。

農作物の販売は、JAを中心に販売強化に努めてまいりたい。

## 【庄原地域 本村地区】

ピラミッドのトイレが壊れて使用できない。道の駅たかのにはばかり目を向けている。地元として情けない。

### (回答) 商工観光課

平成25年9月17日に改修を完了した。

住民自治と言われ、地域に責任が押しつけられる傾向が強くなっているが、地域には人材が不足している。市の行政がすべきことについては職員も財源も確保すべき。

(回答) 自治定住課

自治振興区には、それぞれの地域課題があることから、市では地域自らが課題解決に取り組める住民自治の仕組みづくりと条件整備に取り組んできた。

住民自らが取り組む自治活動は別として、行政が行うべき課題については、当然、行政が行うべきと考える。

人材不足については、地域マネジャーなどの活用について検討をお願いしたい。

【庄原地域 敷信地区】

イノシシとシカにより農作物被害が増加している。イノシシのようにシカに対しても捕獲に対する奨励金を出して欲しい。

(回答) 林業振興課

平成 26 年度から、捕獲班による捕獲経費及びわな猟免許所持者による捕獲報奨金に新たにシカを加え交付対象とした。

合併して 9 年目をむかえているが、支所の職員数などをもっと減らすべきではないか。旧庄原（自治振興区）は年 400 万円で運営している。バランスが悪いのではないか。見直しされるのかお聞きしたい。

(回答) 企画課・自治定住課

平成 26 年 4 月 1 日現在の 6 支所職員数を合併時と比較すると約 90 人で 4 割の減少となっている。

引き続き、サービスの低下を招くことなく、簡素で効率的な行政運営となるよう適正な定員管理に努めてまいりたい。

交付金については、自治振興区連合協議会と連携し、自治振興区振興交付金の一人当たりの交付金額の差について検討し是正していきたい。

【庄原地域 山内地区】

国道 183 の歩道と縁石のカドに泥が堆積している。排水の穴を掃除していない。対応してもらいたい。

(回答) 建設課

状況により広島県（道路管理者）に維持修繕をお願いしている。

庄原日赤病院で予約をしたにもかかわらず、2～3 時間待ちの状態になり、対応が悪い。補助金を出している以上、サービス向上の話しをしてもらいたい。

(回答) 保健医療課

救急患者への対応などによっては予約した時間通りに受診できない場合もあり、その場合は、待合の患者さんへ声掛けするなど、対応されていると聞いている。

庄原赤十字病院運営協議会の場でも、引き続き丁寧な対応等サービス向上を求めていく。

日赤は院外で薬がもらえず、受け取りに時間がかかる。三次は違う。補助金を出している市は、もう少し云えるのではないか。

(回答) 保健医療課

庄原赤十字病院運営協議会の場で、待ち時間の解消に向けた対応等サービス向上を求めていく。

院内処方については、正面玄関口へのバスの乗入れなどサービス向上に努められている。

## 【西城地域 西城地区】

国道 183 号八鳥線 200 メートルくらいの改良が行われている。内京までを早急に対応してほしい。災害や工事などがあった場合、迂回路が確保できないと思う。

(回答) 建設課

市道西城小奴可線については、長期総合計画実施計画により、計画的に実施する。

災害が起きた場合の避難場所の指定がいい加減である。八鳥公民館などは災害が起きても役立たない。そこまでの経路を含め見直してほしい。

(回答) 西城支所・危機管理課

緊急時の一時的な避難や、待機を行う一時避難場所として八鳥集会所（元八鳥公民館）等、一定の地域ごとに集会所等の施設を指定している。

一時避難場所は、代替の施設があれば、協議のうえ見直すことは可能である。なお、一時避難場所に留まることができないような大規模な災害が発生又は発生が予測される場合には、西城自治振興センターや美古登小学校等の広域避難場所へ避難していただくことになる。

日中も地元にいる消防団員が少ない。どんな法律で決められているのかわからないが、3人いないと出動できない。昼は仕事に出かけている人が多いので、取り決めが変えられないか。元団員が出動してはだめか。要望として聞いてほしい。

(回答) 危機管理課

法律等の定めはないが、ポンプの操作等を考慮し、複数の団員が集合してから出動している。

携帯電話等で団員個人との連絡が取れる現在では、1人がポンプ積載車で出動し、他の団員は現場で集合するという場合もある。また、地元の班だけでは人員がそろわない場合は、隣接班等へも同時に出動を命令し、できるだけ早く多くの団員が現場に到着し、活動できるよう努めている。

ポンプや積載車等の資機材の使用は、原則、訓練を受けた現職の消防団員が命令のもと行なうこととしており、元消防団員が独自の判断により出動等することは考えていない。

民家までの道に除雪車が入らない。一人暮らしのお年寄りの家はどうすればいいのか。平日は地域の者も手伝いにいけないので、何か手立てがほしい。

(回答) 建設課

生活道の除雪については、民生委員に調整していただき、高齢者世帯、障害者世帯について対応している状況である。

医療費の減額をしてほしい。安心して医療機関へ掛かることのできる対策を立ててほしい。

(回答) 保健医療課

診療内容によっては医療費が高額となる場合がある。このため、患者負担を軽減するための高額療養費制度や入院時の食事代を減額する制度が設けられている。

不明な点については、本庁保健医療課又は支所市民生活室の窓口へ相談していただきたい。

自治振興区はボランティアでやっており、市役所の職員はプロである。何でも説明ができる職員が減っていることに心を痛めている。正職員をしっかりと確保してほしい。

(回答) 企画課

市の組織については、常に合理化を図り簡素で効率的な運営に努めることを基本とし、毎年度見直しを実施するなかで、適正な定員管理のもと、職員配置を行っている。

こうした中、正職員が出産・育児休業のほか、選挙や申告など短期間の雇用が必要な場合は臨時職員で対応している。

**【西城地域 八鉢地区】**

庄原市の教育長の選任について、もっと地域に密着した地元の人を選出してほしい。

(回答) 総務課

教育委員の任命にあたっては、品格高潔であり、かつ、学校現場での経験や管理職としての幅広い見識をお持ちの方を任命している。

なお、平成26年4月からは、本市出身の方を任命している。

**【東城地域 小奴可地区】**

庄原市はソフト面では支援されているが、水路や基盤が傷んでいる。これから法人化されると思うが、水稻は補助事業がない。もっと考えてほしい。

(回答) 農村整備課

水路等の農業施設整備については、国・県費の補助事業や単独市費の補助事業がある。

また、法人化される場所については、利用できる補助事業があると思われるので、地元・県等と協議を行い、有利な補助事業を検討していきたいと考えている。

**【東城地域 田森地区】**

投票所の数が減っており、投票所も遠くなった。交通手段のないものはどうすればいいのか。

(回答) 選挙管理委員会

投票所へ移動するための新たな交通手段の確保については、経費や運行ルート、運行手段、該当選挙人の把握など考慮すべき課題が多く、現時点での対応は困難である。

投票日当日に投票することが困難と予想される場合は、期日前投票制度により投票日前の約1～2週間の期間中でも投票することができるので、この制度の積極的な活用をお願いする。

期日前投票に行き、理由などを聞かれ、緊張してうまく答えられなかったとの話を聞いた。事務手続きを間単にするため、はがき（入場券）の裏に所定の項目を印刷して、事前に家で書いて行けるようにしたらどうか。この例は他県でやっている。

（回答）選挙管理委員会

現在、入場券の裏には、投票の際の留意事項と期日前投票についてのお知らせと、必要最低限の連絡事項を記載している。採用自治体のように宣誓事項を記載することは可能であるが、限られたスペースの中で連絡事項と宣誓事項を一緒に記載すると文字や欄が小さくなり、記入しにくくなったり、連絡事項が見えづらくなるため、本市では現在のところ行っていない。

期日前投票所では、記載しやすい場内配置に配慮するとともに、宣誓書記入の際に選挙人ができるだけ緊張されない雰囲気づくり、職員対応を引き続き心がけていく。

【東城地域 八幡地区】

庄原市は、がんばる農業など他市と比べると多くの補助金を出している。県からも、営農指導員など支援してもらっている。しかし、もう少し盛り上がりがない。もう一步踏み込んだ事業がほしい。

（回答）農業振興課

がんばる農業支援事業は毎年申請が増加傾向にあり、また、他の補助事業等についても必要な部分は有効に活用されている。

引き続き現行制度を維持しつつ、新たな取り組みも検討してまいりたい。

また、営農指導と併せ JA と連携して出荷販売の強化に努めていく。

【東城地域 東城地区】

自治振興センターの指定管理について、自治振興センターに併設している文化ホールの音響や照明などの装置の操作が、素人ではできないので、そのあたりを市として考えて欲しい。

（回答）東城支所・生涯学習課・自治定住課

東城文化ホールの指定管理に係るホールの音響や照明などの操作については、自治振興区や自治振興センターの業務等も勘案し、適正で専門的な対応ができるよう検討していく。

自治振興センターについて夜間の施錠の仕方が慣れないせいもあり、不便との意見がある。

(回答) 東城支所・自治定住課

夜間の施錠については、不便さを改善する手立てを講じていきたい。

#### 【東城地域 久代地区】

小学生が事件に巻き込まれることが増えている。放課後など、子ども・親が安心できる体制を考えるなど、小さいケアをしてほしい。

(回答) 教育委員会

親の就労等により、昼間に保護者のいない家庭の小学生に対し、放課後から夕方まで安心して過ごせる居場所として、すべての小学校区において、放課後児童クラブ事業、放課後子ども教室事業を実施し、児童の健全育成と保護者の就労を支援している。

#### 【東城地域 新坂地区】

要望書も提出しているが、市道谷弘（タニヒロ）線の道路改修工事を早期に着工して欲しい。併せて、この県道からこの自治振興センターへの進入路も改良して欲しい。

(回答) 建設課

市道谷弘線及び自治振興センター進入路の市道三坂小学校線については、長期総合計画実施計画により、計画的に実施する。

市政懇談会の再開を望む。今のやり方では、住民の意見を聞くと言う姿勢では無いと思える。従来のものに戻して欲しい。

(回答) 情報政策課

平成 24 年度までは、懇談会参加者を自治振興区等の役員に制限し、実施していた。参加者を制限するのはおかしいとの意見を受け、平成 25 年度は一般の方の参加を制限しないこととし実施した。

平成 26 年度も同様に実施する予定である。なお、実施会場数を増やして欲しいとの要望もあり、これまで旧市町単位 7 会場を 12 会場程度に増やして実施する予定である。

(各地域自治振興区連絡協議会・自治振興区の意向に基づき会場数を設定することとしている。)

県道や市道の法面の草刈りが雑すぎる。もっと丁寧に刈って欲しい。そして、道に被さる立木の伐採もお願いしたい。車の通行に支障がでている。

(回答) 建設課

草刈事業については、視矩確保を目的としており、ご理解をお願いしたい。また、車両の通行に支障のある立木については、立木の所有者に伐採のお願いをさせていただきます。

市道近屋(チカヤ)線の道路改良工事が止まったままになっている。早期の再開を望む。

(回答) 建設課

市道近屋線については、長期総合計画実施計画により、計画的に実施する。

高速通信網が整備されれば解決することかも知れないが、地デジが見えにくい。市に相談しても、既に終了していることと、対応が悪い。今後、機器が故障した場合、誰が負担するのか。個人負担が非常に高額である。

(回答) 情報政策課

共聴施設の機器については、運用に係る経費は共聴施設組合の負担となることをご理解いただいて事業を実施してきている。

(実際に機器等の故障の際に対応できるよう動産保険に加入され対応されている組合もある。)

現在、地デジの受信対応については、国の機関である総務省テレビ受信者支援センターが実施しており、地デジ視聴が困難な状況があれば市からも受信者支援センターに伝えていく。

**【口和地域 口和地区】**

公共料金の支払い方法について、庄原市ではクレジットが利用出来ない。ポイント制度もあるので考えてほしい。

(回答) 会計課

検討課題である。

問題は費用対効果と収納のタイムラグをどう考えるか。関係課で協議する必要がある。

## 【比和地域 比和地区】

現在、市は衛星ブロードバンドの希望申込を受け付けているのでは。ADSLが入らないところについての申込を受け付けているのでは。光とは関係ないのか。

### （回答）情報政策課

市では行政文書により利用希望受け付けの周知を行い、希望があった世帯がADSL、無線LAN、携帯電話の電波を利用したブロードバンドサービスが利用できないかどうか現地調査を行った上で、機器の無償貸付を行っている。

光ケーブルによる超高速情報通信網の整備は、現在平成26年度から5年間の整備計画としており、整備までの間ブロードバンドサービスが利用できない世帯に対して、平成26年度も引き続き衛星ブロードバンドの希望調査を実施し機器の無償貸付を行うこととしている。

通院バスの運行について、高齢者のために月2回でいいので、バスがほしい。日赤まで片道930円であり、経費がかかる。要介護の人だけではなく、認定されない狭間の高齢者も暮らしやすいように考えてほしい。

### （回答）高齢者福祉課

高齢化が進む中、病院等への移動支援の要望が高まってきている。

26年度は、第6期高齢者福祉計画の策定を予定しており、この件については、市全域の課題として、高齢者の方が住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるよう関係機関と検討していく。

地元野菜の道の駅たかのまでの運搬方法について、現在、野菜を出荷しているが、予冷库へストックし、それを比和特産市場まで持っていつている。高野まで運搬するのに人手が不足している。何か方法はないか。

### （回答）高野支所・商工観光課

集荷日を定めて、定期的な集荷が可能であれば、道の駅たかのに導入した保冷車での運搬が可能である。

出荷希望者へは集荷に関する必要な情報提供を適宜行う。

八木店について、自分も野菜を出荷しているが、ほとんど客がいない。売り上げも低下している。今後どうするのか。

(回答) 農業振興課

平成 25 年度末をもって閉店し、平成 26 年度に建物を解体撤去し、地権者に土地を返還するよう取り組みを進めている。

出荷者へは、JA や産直市への出荷を案内している。

自分は地域審議会委員になっているが、出た意見を集約したものが未だに示されていない。地域の声として、合併後の各町をバスなどで巡回視察をしたいとの声が高齢者から出ているが、どうか。

(回答) 企画課・高齢者福祉課

地域審議会の答弁書及び会議録については、開催年度及び各地域毎に市のホームページに掲載しているのので、参考としていただきたい。

また、高齢者相互の交流活動の場として、「庄原市老人クラブ連合会」があり、この度の要望については、市から庄原市老人クラブ連合会へその旨を伝えるとともに、比和地域の老人クラブからも、要望されることを提案する。

**【総領地域 総領地区】**

主要地方道三良坂総領線（上市交差点～ダム再建地）における道路改良について、何年も要望しているが実現していない。粘り強く対応をしてもらいたい。

(回答) 建設課

庄原市主要事業要望等により、毎年広島県へ、強く要望している。